

絵本との出会い事業

取り組みの概要

乳児と保護者が絵本を介して、親子で向き合い、触れ合いを深めるために、乳幼児健診を活用して、絵本との出会いや親子で交わすことばの大切さや必要性を伝えつつ、絵本をプレゼントしています。また、「本に対する関心を高め、ブックリストの活用や図書館利用への誘導」なども推進しています。

協働の きっかけ

ブックスタート検討時、帯広市としては、絵本の配本目的ではなく子育て支援の視点を持った事業として位置付けました。また「地域で子育てを支えるまちづくり」の視点から、事業実施をボランティアですすめ、5か月児健診の場で、絵本の紹介と絵本をとおして育てられる力を伝えます。

子育て支援課

- ・乳幼児健診の場の提供。
- ・行政ならではの情報発信力。

- ・ホームページやすこやかネット等での情報発信。
- ・ボランティア登録の窓口



絵本との出会い事業 ボランティアの会ゆりかご

- ・絵本の読み聞かせの知識が豊富。
- ・絵本の読み方や紹介など親のニーズに対応できる。

- ・絵本の紹介と読み聞かせを通して保護者が絵本を選ぶ手伝い。
- ・図書館の紹介

強み

役割

協働の 成果

ボランティアを中心に実施しながら内容の精査を行い、工夫検討しながら活動を行っています。令和元年に1歳6か月児健診を受診する保護者を対象に実施したアンケート調査の結果では、この事業が「絵本の読み聞かせをするきっかけになった」、「すでにしていた」と回答した方を合わせると93.0%となり、この事業の成果は大きいと考えます。

協働のポイント

体制を維持するためにボランティアの増員と、さらなるスキルアップを目的に研修を行っていく必要があります。

<登録ボランティア活動の流れ>

配本準備
会場設営
受け付け
誘導
読み聞かせ
片付け
反省会実施

この他、年一回の交流会、研修会を実施しています。

<子育て支援課>

ボランティアの登録窓口

